



VMware Horizon View Optimized Secure Access

F5 BIG-IP プラットフォームは、VMware View ユーザ・エクスペリエンスを最適化し、最高のパフォーマンス、可用性、拡張性、およびセキュリティを提供します

ホワイト・ペーパー
Simon Hamilton-Wilkes
プリンシパル・ソリューション・
エンジニア
VMware Alliance



目次

目次	2
<hr/>	
はじめに	3
VMware エンドユーザ・コンピューティング	3
<hr/>	
パフォーマンス、拡張性、およびセキュリティ	4
セキュリティとアクセス制御の強化	4
<hr/>	
結論	5
<hr/>	
追加リソース	6



はじめに

IT 部門にとって、長年にわたって課題となってきたのが、デスクトップとエンドポイントのデバイス管理です。個々のユーザが柔軟性、複数のアクセス・オプション、およびデスクトップ・カスタマイズを要求するのに対して、事業単位ではビジネス要件や技術的なニーズに基づいて、それぞれ異なるメモリ、ディスプレイ、およびソフトウェア構成などの複数のタイプのデスクトップ環境が要求されることがよくあります。この種の複雑な管理マトリックスは、それだけでも管理者の大きな頭痛の種になりかねません。さまざまなニーズすべてに応えるアドイン・サポートに加えて、ラップトップからのアクセスのニーズに応えるリモート・サポートも要求されるため、デスクトップ管理に IT 部門の予算と時間を使い果たす一方です。

VMware エンドユーザ・コンピューティング

VMware Horizon View は、VMware の Horizon Suite 製品の一部であり、ロケーションおよび利用環境の標準化という 2 つの主要な管理上の頭痛の種を軽減します。ロケーション問題を解決するため、VDI（仮想デスクトップ）展開が、データセンタからネットワーク経由で個々のクライアントに VDI 環境を配布することで、ユーザ・デスクトップを仮想化します。ローカライズされたオペレーティング・システムを現場で個々のデスクトップ・マシンとラップトップ・マシン上で実行するのではなく、これらのデスクトップはデータ・センタで保管され実行されます。このシームレスな仮想化は、ユーザに感知されることなく行われます。

標準化問題を解決するため、VMware は特定のデスクトップ・ニーズを抱えた事業グループをデータ・センターに集約し、1 つの単位として管理できるようにします。たとえば、すべての Windows マシンに新しいサービス・パックをインストールする必要がある場合、そのサービス・パックをデータ・センター内のマスター・イメージにインストールし、ユーザが翌朝ログインしたときに、そのイメージが配布されるようにすることができます。IT スタッフがわざわざローカル・システムの所に出向いたり、リモート・ツールを使ってソフトウェア・インストールを送り出す必要がなくなるため、ユーザは営業時間中に再起動しなくて済みます。

ロケーションと標準化に関するこのような懸念事項以外に、仮想デスクトップ展開が成功するかどうかの分岐点になることとして常に挙げられるのが、ユーザ・エクスペリエンスの問題です。パフォーマンスは従来のデスクトップに引けを取ってはならない上に、可用性およびセキュリティははるかに向上していなければなりません。

F5 は組織が View デスクトップ展開におけるこれらの重大な要素を成功させるのに役立つさまざまなソリューションを提供しています。F5 のアプリケーション・デリバリ・ネットワーキング (ADN) ソリューションと VMware View を組み合わせて、セキュア・アクセス、単一名前空間、ロード・バランシング、サーバ・ヘルスマニタリングなどのニーズに応えることの利点は、これまで十分に検証され、文書化されてきました。中核をなす提供内容が訴求力のあるものとなるようにするため、F5 はこれまで最適化されたパッケージをリリースして、さまざまなサイズの View 展開に対するセキュアリモート・アクセスをコスト効率良くサポートしてきました。これらのパッケージには、基本的な機能以外に、使用法を単純かつ直観的にするための合理化された構成オプションが搭載されています。



パフォーマンス、拡張性、およびセキュリティ

VMware Horizon View 展開が大規模になればなるほど、View Connection Server でデスクトップの同時接続を処理する必要性も増していきます。F5 がリリースした VMware Horizon View Optimized Secure Access & Traffic Management により、最適なロード・バランシングとヘルスマニタリングが実現されます。その結果、システムの可用性と拡張性が向上し、最終的にはユーザ・エクスペリエンスが向上します。さらに、F5® iApps® テンプレートにより、推奨設定を提示し人的ミスを防止することで、構成が直観的になり、セットアップが単純化されます。

VMware View クライアントの接続性では、複数のポートとプロトコルを活用します。正常なセッションを実現するには、これらを同じ View Connection Server で指定しなければなりません。View のデスクトップ・ストリーミング・プロトコルである PC over IP (PCoIP) は UDP ベースですが、認証および USB トンネリングには SSL 暗号化 TCP 接続が活用されます。管理者は、この暗号化を F5 BIG-IP® ADC にオフロードすることで、View Connection Server 上の容量を節約することができます。

セキュリティとアクセス制御の強化

セキュアなリモート・アクセスは、企業情報の保護にとって必要不可欠であり、規制条例などによって要求されることもあります。外部から社内ネットワークへの Horizon View 接続をルーティングするには、DMZ に PCoIP プロキシが必要です。

この機能をセキュアかつ拡張性に富む方法で実現するのが、BIG-IP® Access Policy Manager® (APM) です。BIG-IP APM を DMZ に配置することで、機密性の高い Windows サーバ、Active Directory ドメインに参加したサーバ、または DMZ への View Connection Server を危険にさらす必要がなくなります。さらに、VMware Security Gateway サーバを DMZ に設ける必要もなくなります。BIG-IP APM アプライアンスは、PCoIP 接続を代理して、View ポッド内で空いている Connection Server があれば、PCoIP 接続をそれに渡します。それを受けて、Connection Server はこの接続を通常の内部 PCoIP セッションとして解釈します。これにより、BIG-IP アプライアンスの拡張性もたらされ、BIG-IP APM と BIG-IP® Local Traffic Manager™ (LTM) の可視性が PCoIP に反映されます。その結果、より高度なアクセス管理が可能になります。

F5 は最近、同時接続デスクトップ数の大小に応じて 4 種類の最適化製品を開発しました。それは、投資収益率 (ROI) を早め、競合他社を上回る機能を提供し、BIG-IP APM への投資を展開サイズに見合ったものにするためです。展開を容易にするため、最新の iApps テンプレートも含まれています。このカスタム版 iApp は、完全版 iApp for View に比べ構成オプションが少ないため、高度な機能が必要な場合は完全版をお使いください。いずれの iApp でも、特定のビジネス要件と技術的要件に対処するように、必要に応じて構成を改変することができます。



これらの新しい F5 製品オプションは、VMware と連動して開発されました。その結果、BIG-IP APM が View にもたらした追加機能と、PCoIP プロキシとしてのセキュリティサーバの限界が明らかになりました。今回強化した VMware とのジョイント・ソリューションは、お客様が導入とサポートを行う点で簡単になっています。BIG-IP LTM を APM に追加すると、追加の高度なトラフィック管理オプション、単一名前空間、ユーザ名の永続性など、さらに多くのオプションを利用できるようになります。(詳細については、この文書の末尾にあるリソースのセクションを参照してください。)

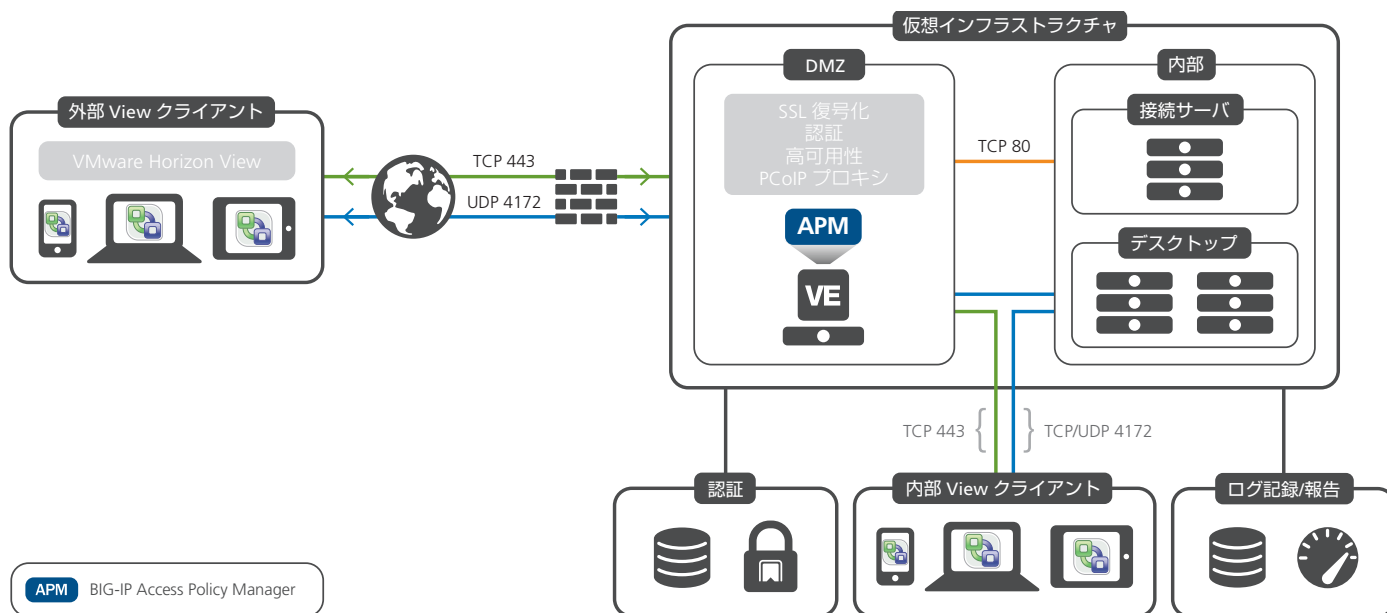


図 1 : F5 BIG-IP システムと VMware Horizon View トポロジ

結論

VMware Horizon View のような仮想デスクトップ・ソリューションをエンタープライズ全体に展開することが有益であることには、疑問の余地がありません。F5 BIG-IP システムを並行して展開することで、組織はさらに高いセキュリティ、可用性、および拡張性を達成しながら、ユーザ・エクスペリエンスを向上させることができます。実績のある iApps テンプレートによって提供される直観的な展開オプションと PCoIP プロキシ・サービスのサポートにより、BIG-IP APM はセキュアなリモート・アクセスを実現するための最高のソリューションとなっています。さらに、最適化された新製品によりコストと展開の煩雑さの両方が改善されたため、BIG-IP ADC が View の標準コンポーネントになりました。そのうえ、BIG-IP LTM や BIG-IP® Global Traffic Manager™ (GTM) などの他の BIG-IP モジュール

ルを活用することで、IT スタッフは複数の VMware View ポッドや物理サイトを 1 つに統合して、セキュアなデスクトップを実現することができます。いずれにしても、ユーザの作業を妨げることはありません。ユーザが必要に応じて既存の永続的なデスクトップ・ソースに再接続できるようにし、計画されたイベントだけでなく突発的なイベントにも対応できる動的かつ俊敏性に富むインフラストラクチャを提供することで、BIG-IP システムは VMware View 展開を成功させる上で必要不可欠な要素となります。

追加リソース

[VMware View 向け展開ガイド \(Horizon View を含む\) \(英語\)](#)

[VMware View 展開での単一名前空間の有効化 \(英語\)](#)

[VMware View 展開でのユーザ名の永続性 \(英語\)](#)



F5 ネットワークスジャパン株式会社

東京本社

〒 107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 19 階
TEL 03-5114-3210 FAX 03-5114-3201

西日本支社

〒 530-0012 大阪府大阪市北区芝田 1-1-4 阪急ターミナルビル 16 階
TEL 06-7222-3731 FAX 06-7222-3838

Solutions for an application world.

www.f5networks.co.jp